



※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



 「エアーメモリアルinかのや2013」を開催

4月28日、海上自衛隊鹿屋航空基地で「エアーメモリアルinかのや2013」が開催されました。絶好の晴天のもと、県内外の航空ファンや家族連れなど約2万9千人が訪れ、滑走路に展示してある自衛隊機に触れるなど、普段見慣れない自衛隊機を間近で見学しました。航空ショーでは、P-3C哨戒機3機による編隊飛行や民間アクロバット機によるダイナミックな曲芸飛行も行われ、大空に白い煙のハートマークを描いたりするなど高難度の妙技が披露されました。また、戦車や装備品の展示、自衛隊員の制服を着用できるコーナーでは、写真を撮る家族連れなどで大いに盛り上がっていました。関連イベントとして、4月27日には、海上自衛隊鹿屋航空基地で体験搭乗などが、市文化会館では、佐世保音楽隊による演奏会なども行われ大いに盛り上がった2日間となりました。



 体育大学新入生が鹿屋の食材を堪能

4月5日、リナシティかのやイベント広場で「鹿屋体育大学新入生歓迎会」が開催されました。今回で17回目を迎える同会は、地域づくり交流事業実行委員会が毎年行っており、市内32団体が参加して新入生を歓迎。かのやカンパチや鹿児島黒牛、黒豚など地元食材を使った料理が振舞われ、参加した新入生197人は、鹿屋の味を十分に堪能していました。



 婚姻届を出された夫婦に記念品を贈呈

4月15日から、市民課では市在住で婚姻届を出された人に、記念品贈呈を開始しました。記念品は、メッセージカードとかのやばら園のペア無料招待券です。4月17日に婚姻届を出された新屋清二さん・美智子さん夫妻は「良い記念になりました。ばら園で開催されるファンタジーナイトに行くときに利用したい」と笑顔で話されました。



 ばらの開花を宣言 ~かのやばら祭り2013春~

4月25日、かのやばら園で、「ばらの開花宣言」が行われました。当日は、南部幼稚園の園児による歌などが披露されたあと、ばら園の開花を宣言。最後に、くす玉を割って開花を祝いました。「かのやばら祭り2013春」は、6月2日まで開催されており、期間中はファンタジーナイトなど多くのイベントが行われるほか、展示や講座なども開催されます。



 鹿屋 子牛30頭が元気に入牧

4月24日、入牧式が市営鳴之尾牧場で行われ、生後6か月～12か月齢の乳用子牛30頭が緑豊かな牧草地に放牧されました。当日の天候は雨のため、起伏に富んだ傾斜地は滑りやすい状況でしたが、子牛は元気に走りまわり、牧草もたくさん食べていました。放牧期間は1年～1年半ほどで、人工授精で受胎後、分娩の2～3か月前に各酪農家に里帰りします。



 御岳山頂で登山者の安全を祈願

4月13日、登山シーズンを前に高隈山で山開きが行われました。澄み切った青空のもと、TV塔下登り口から御岳を目指した78人の参加者は、途中山岳ガイドによる高隈山の魅力を聞きながら約1時間30分かけて登頂。360度広がる大自然のパノラマを眺めた後は、山頂で神事がとり行われ、登山者の安全を祈願しました。



 鹿屋 「永遠の0」作者が鹿屋を訪れる

4月20日、ベストセラー小説「永遠の0」の作者である百田尚樹氏が、小説の舞台である鹿屋航空基地を訪れました。当日は、百田氏を含む関西方面からのツアー客40人を嶋田市長や杉本群司令が出迎え、鹿屋航空基地史料館などを案内しました。7年振りに鹿屋を訪れた百田氏は「小説・映画を通して鹿屋を日本人に知ってもらいたい」と話してくれました。



 輝北 日枝神社で畜産振興を祈願

4月14日、牛馬の神として知られ「山王どん」の愛称で親しまれている輝北町市成の日枝神社で、「輝北畜産まつり」が開催されました。当日は、舞台で催し物などが披露されたほか、血統書付きの黒毛和牛の子牛1頭が当たる抽選会も行われ、訪れた約2,000人の観客は、恒例となる春の祭りを楽しんでいました。



 申良 2013くしら桜まつりを開催

3月22日から4月7日にかけて、申良平和公園で「2013くしら桜まつり」が開催されました。例年に比べて桜の開花が早かったものの、昼夜問わず市内外から花見客が訪れました。また、4月7日には「第28回くしら桜まつりジョギング大会」が開催され、4種目に770人がエントリー。あいにくの雨と強風という悪天候の中でしたが、参加者は寒さに負けず健脚を競っていました。そのほか、特製お菓子のつかみ取りや薩摩剣士隼人ショーなどステージショーも行われ、多くの家族連れなどで賑わいました。

